

令和2年

おおいた冬の事故ゼロ運動

運動の重点

4

12月9日(水)～12月18日(金)までの10日間

横断歩道でのマナーアップ～横断歩道は歩行者優先～ 歩行者への思いやりを忘れずに

●ドライバーは、横断歩道を渡ろうとしている歩行者がいる時は一時停止を徹底しましょう。

★大分県の「信号機のない横断歩道を歩行者が渡ろうとしている時に車両が停止する割合」は15.7%(全国平均21.3%)で、九州最下位です。
(R2年 JAF調査)

ドライバーの思いやり



歩行者も交通ルールを守りましょう!

●歩行者も「道路を横断するときは左右の安全を確認する」「横断歩道を渡る」など、交通ルールとマナーを守りましょう。

★過去5年間(H27～R1)の歩行者が亡くなった事故では、約7割以上は歩行者も交通違反がありました。



歩行者の思いやり

高齢者と子供の交通事故防止

高齢者と子供に対して 思いやりのある運転を

●病院、公園、学校の付近など、高齢者や子供が多い場所は特に気をつけましょう。

運転免許証の 自主返納に努めましょう

●運転に不安がある高齢ドライバーは、サポカーの利用や、運転免許の自主返納について検討してみましょう。

安全運転相談ダイヤル **#8080** ハレハレ

夕暮れ時と夜間の交通事故防止

早めのライト点灯とライトアップ走行を 心がけましょう

- ドライバー・自転車利用者は午後5時を目安にライトを点灯しましょう。
- 夜間、先行車や対向車がない時はハイビームで走行しましょう。

歩行者は明るい服装と 反射材等の着装を

●靴や鞆、杖など、いつも使う物に反射材を着装すると効果的です。

★冬の交通事故は日没前後60分間に多発!



飲酒運転の根絶 ～飲んだらのれん～

飲酒運転は絶対に「しない・させない・許さない!」

●飲酒運転はドライバーだけの問題ではありません。一緒にお酒を飲んだ人もお互いに声をかけ、飲酒運転の根絶を目指しましょう。

二日酔いでも飲酒運転になります!

●飲み過ぎや遅くまで飲酒した翌日は運転を控えましょう。

★1単位(約20g)のアルコール(次の図の量)が抜けるのに約4時間がかかります。

ビール
アルコール度
5%



500ml

日本酒
アルコール度
15%



1合
180ml

ウイスキー
アルコール度
43%



ダブル1杯
60ml

ワイン
アルコール度
12%



小グラス2杯
200ml

焼酎
アルコール度
25%



コップ半分
100ml

※上記は平均的な体型の成人男性(体重60kg)の例です。アルコールの代謝には個人差があります。

